平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名　株式会社 椿本チエイン　　上場取引所　東 大
コード番号　6371　URL　http://www.tsubakimoto.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 長 勇
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画センター長　(氏名) 山本 哲也　TEL 06-6441-0054

四半期報告書提出予定日　平成25年2月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	108,292	2.7	9,139	4.1	9,396	5.9	5,347	5.8
24年3月期第3四半期	105,457	3.0	8,778	2.9	8,875	2.7	5,053	1.2

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　6,666百万円　(87.3%)　24年3月期第3四半期　3,559百万円　(28.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	28.57	―
24年3月期第3四半期	27.17	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	202,352	101,200	46.9
24年3月期	191,766	96,335	46.9

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　94,888百万円　24年3月期　89,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	3.00	―	4.00	7.00
25年3月期	―	3.00	―		
25年3月期(予想)				4.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	3.5	12,100	0.2	12,100	△0.3	6,800	△0.2	36.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 椿本鏈条(天津)有限公司 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	191,406,969 株	24年3月期	191,406,969 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	4,260,049 株	24年3月期	4,246,240 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	187,154,610 株	24年3月期3Q	186,005,918 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではございません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 …… P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… P. 4
3. 四半期連結財務諸表 …… P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表 …… P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… P. 9
(4) セグメント情報等 …… P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… P. 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成24年４月1日～平成24年12月31日）における当社グループの事業環境は、日本国内を中心とした自動車生産の増加や東日本大震災からの復興需要などにより、第２四半期前半までは緩やかな回復基調で推移しましたが、欧州経済の低迷や中国経済の成長鈍化などに伴う世界景気の減速、日中関係の悪化による中国ビジネスの減速などにより、第３四半期の事業環境は弱含みで推移しました。

このような状況の下、当第３四半期連結累計期間の受注高は1,076億17百万円（前年同期比2.3%増）、売上高は1,082億92百万円（同2.7%増）となりました。利益につきましては、営業利益は91億39百万円（同4.1%増）、経常利益は93億96百万円（同5.9%増）、四半期純利益は53億47百万円（同5.8%増）となりました。

なお、セグメント別の概況は次のとおりです。

［チェーン］

チェーンにつきましては、北米において駆動用チェーンの販売が堅調に推移しましたが、日本国内や欧州で駆動用チェーンやケーブル・ホース支持案内装置などの販売が減少したことから、売上高は前年同期比で減収となりました。

以上により、チェーンの受注高は359億３百万円（前年同期比5.6%減）、売上高は364億22百万円（同3.4%減）、営業利益は26億37百万円（同0.2%増）となりました。

［精機］

精機につきましては、中国において減速機の販売が堅調に推移しましたが、日本国内での液晶・半導体業界や鉄鋼業界向け直線作動機や軸継手の販売が低調であったことなどから、売上高は前年同期比で減収となりました。

以上により、精機の受注高は145億円（前年同期比9.2%減）、売上高は147億79百万円（同8.1%減）、営業利益は16億36百万円（同22.5%減）となりました。

［自動車部品］

自動車部品につきましては、日中関係の悪化に伴う日系自動車メーカーの自動車生産減少などにより、中国における自動車エンジン用タイミングチェーンドライブシステムの販売は先行き不透明な状況となりましたが、日本、北米、その他の地域で同商品の販売が好調に推移したことから、売上高は前年同期比で増収となりました。

以上により、自動車部品の受注高は365億64百万円（前年同期比17.1%増）、売上高は365億15百万円（同16.6%増）、営業利益は48億41百万円（同41.2%増）となりました。

［マテハン］

マテハンにつきましては、国内の工作機械業界向け搬送設備の販売が第３四半期に入り減少したものの、流通業界向け仕分け設備、粉粒体搬送設備の販売が堅調であったことやメイフラン・ホールディングスグループ（米国）傘下の全事業を取得し、Mayfran International, Inc.他を連結の範囲に含めたことなどから、売上高は前年同期比で微増となりました。

一方、利益につきましては工作機械業界向け搬送設備の販売が減少したことに加え、大口案件減少に伴う採算性の悪化などにより、前年同期比で大幅な減少となりました。

以上により、マテハンの受注高は190億33百万円（前年同期比2.9%増）、売上高は191億19百万円（同0.7%増）、営業利益は45百万円（同87.7%減）となりました。

［その他］

その他の受注高は16億16百万円（前年同期比5.5%増）、売上高は14億54百万円（同8.2%増）、営業利益は1億21百万円（同22.8%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して105億86百万円増加し、2,023億52百万円となりました。

流動資産は、主に譲渡性預金の減少により有価証券が25億28百万円減少した一方、椿本鏈条（天津）有限公司の新規連結などにより現金及び預金が45億35百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して30億94百万円増加し、897億24百万円となりました。

固定資産は、メイフラン・ホールディングスグループ傘下の全事業を取得したことなどによりのれんが41億49百万円増加したこと、生産設備への投資などにより有形固定資産が36億16百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して74億92百万円増加し、1,126億28百万円となりました。

（負債）

負債は、仕入の減少などにより支払手形及び買掛金が31億65百万円減少した一方で、借入金が94億４百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して57億21百万円増加し、1,011億52百万円となりました。

（純資産）

純資産は、利益剰余金が40億69百万円増加したこと、円安進行に伴い為替換算調整勘定が８億１百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して48億64百万円増加の1,012億円となり、自己資本比率は46.9%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の連結業績予想につきましては、現時点では、平成24年11月9日公表の業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結累計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であった椿本鏈条（天津）有限公司について重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,661	14,196
受取手形及び売掛金	42,886	40,276
有価証券	4,468	1,940
商品及び製品	12,612	13,780
仕掛品	8,251	9,958
原材料及び貯蔵品	5,029	5,714
その他	4,086	4,222
貸倒引当金	△367	△365
流動資産合計	86,630	89,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,082	22,519
機械装置及び運搬具（純額）	18,143	20,251
工具、器具及び備品（純額）	1,787	1,887
土地	36,384	36,994
建設仮勘定	4,363	4,724
有形固定資産合計	82,761	86,377
無形固定資産		
のれん	57	4,207
その他	1,659	1,561
無形固定資産合計	1,716	5,768
投資その他の資産		
投資有価証券	12,990	14,741
その他	7,796	5,877
貸倒引当金	△129	△136
投資その他の資産合計	20,657	20,482
固定資産合計	105,135	112,628
資産合計	191,766	202,352

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,779	24,613
短期借入金	10,141	8,597
1年内返済予定の長期借入金	453	3,496
未払法人税等	2,283	834
賞与引当金	3,059	1,764
工事損失引当金	58	71
資産除去債務	12	―
その他	10,756	12,171
流動負債合計	54,544	51,549
固定負債		
長期借入金	16,810	24,715
退職給付引当金	9,722	9,668
役員退職慰労引当金	253	227
資産除去債務	237	245
その他	13,861	14,744
固定負債合計	40,885	49,602
負債合計	95,430	101,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,657	12,657
利益剰余金	77,167	81,236
自己株式	△2,009	△2,015
株主資本合計	104,892	108,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,122	3,363
繰延ヘッジ損益	△61	△165
土地再評価差額金	△11,312	△11,348
為替換算調整勘定	△6,718	△5,916
その他の包括利益累計額合計	△14,969	△14,067
少数株主持分	6,412	6,311
純資産合計	96,335	101,200
負債純資産合計	191,766	202,352

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	105,457	108,292
売上原価	75,311	77,163
売上総利益	30,146	31,128
販売費及び一般管理費	21,367	21,989
営業利益	8,778	9,139
営業外収益		
受取利息	30	32
受取配当金	274	308
その他	648	605
営業外収益合計	953	946
営業外費用		
支払利息	383	333
その他	473	356
営業外費用合計	856	689
経常利益	8,875	9,396
特別利益		
固定資産売却益	20	0
投資有価証券売却益	0	1
関係会社株式売却益	53	－
特別利益合計	74	1
特別損失		
減損損失	112	167
固定資産除売却損	－	1
投資有価証券売却損	－	0
関係会社株式売却損	107	－
投資有価証券評価損	13	16
特別損失合計	233	185
税金等調整前四半期純利益	8,716	9,211
法人税、住民税及び事業税	2,223	2,729
法人税等調整額	931	744
法人税等合計	3,155	3,473
少数株主損益調整前四半期純利益	5,561	5,738
少数株主利益	507	391
四半期純利益	5,053	5,347

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	5,561	5,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,190	243
繰延ヘッジ損益	22	△103
土地再評価差額金	830	―
為替換算調整勘定	△1,746	781
持分法適用会社に対する持分相当額	81	7
その他の包括利益合計	△2,001	927
四半期包括利益	3,559	6,666
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,081	6,285
少数株主に係る四半期包括利益	478	381

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額
	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	小計				
売上高									
外部顧客への売上高	37,722	16,080	31,316	18,994	104,113	1,344	105,457	―	105,457
セグメント間の内部売上高又は振替高	986	265	―	13	1,265	668	1,933	△1,933	―
計	38,708	16,346	31,316	19,007	105,379	2,012	107,391	△1,933	105,457
セグメント利益（営業利益）	2,632	2,111	3,429	372	8,546	98	8,645	133	8,778

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額133百万円には、セグメント間取引消去343百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△209百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：百万円）

	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	その他(注)	調整額	合計
減損損失	―	59	―	39	13	―	112

（注）「その他」の金額は稼働休止状態になっている土地に係る減損損失であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額
	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	小計				
売上高									
外部顧客への売上高	36,422	14,779	36,515	19,119	106,837	1,454	108,292	―	108,292
セグメント間の内部売上高又は振替高	834	259	―	89	1,183	699	1,883	△1,883	―
計	37,257	15,039	36,515	19,208	108,021	2,154	110,175	△1,883	108,292
セグメント利益（営業利益）	2,637	1,636	4,841	45	9,161	121	9,282	△143	9,139

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△143百万円には、セグメント間取引消去189百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△332百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：百万円）

	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	その他(注)	調整額	合計
減損損失	39	8	―	4	115	―	167

（注）「その他」において、取壊しの意思決定をした建物等につき、帳簿価額を回収可能額まで減額し、既存建物の解体費用を含めて減損損失を計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

（単位：百万円）

	チェーン	精機	自動車部品	マテハン(注)	その他	調整額	合計
のれん	―	―	―	4,158	―	―	4,158

（注）「マテハン」において、第２四半期連結会計期間にメイフラン・ホールディングスグループ傘下の全事業を取得したことにより発生したものです。また、発生したのれんの金額は、暫定的に算定された金額であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。